

AU <sup>3405</sup>~~82~~ 48312

15-250.351

JA 0206451  
DEC 1983

(54) WINDSHIELD WIPER MADE OF TRANSPARENT MATERIAL

(11) 58-206451 (A) (43) ~~112 1982~~ (19) JP

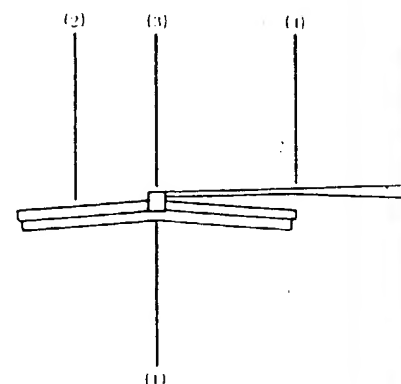
(21) Appl. No. 57-90225 (22) 27.5.1982

(71) HAYAMI UDA (72) HAYAMI UDA

(51) Int. CP. B60S1/32

**PURPOSE:** To improve the visual range and improve safety by forming a windshield wiper with transparent material, thus eliminating the obstruction for the visual range of a driver.

**CONSTITUTION:** All of the cleaning part 1, fixing parts 2 and 3, and the supporting part 4 of a windshield wiper are formed with transparent material. Therefore, the visual range is not obstructed, since windshield wiper members are made of transparent material.



⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—206451

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 60 S 1/32

識別記号

庁内整理番号  
6519—3D

⑬ 公開 昭和58年(1983)12月1日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 透明な材料により形成されたワイパー

⑯ 発明者 宇田早海

鎌倉市由比ヶ浜1の9の34

願 昭57—90225

⑰ 出願人 宇田早海

⑱ 出願 昭57(1982)5月27日

鎌倉市由比ヶ浜1の9の34

#### 明 細 書

##### 発明の名称

透明な材料により形成されたワイパー

##### 特許請求の範囲

本発明は、(1)固定部(2)(3)及び支持部(4)からなるワイパーに於いて、(1)(2)(3)(4)の部位全てを透明な材料で形成したワイパー

##### 発明の詳細な説明

この発明は透明な材料でワイパーを形成し、運転者の視界による障害を除き、安全の向上を計った手段に関するものである。

従来のワイパーは不透明な材料により形成されており運転者の目前で断続的に視界を遮断することにより、目の疲れ、又安全の確認に著しい障害となり重大な事故の原因となっていた。又ワイパーを作動させず所定の位置に置いた場合も視界をさえぎり安全の確認に大きな障害となっていた。

この発明は上述の様な重大な欠点を除き、運転者の安全をより一層向上させるために発明さ

れたものである。これを図について説明すると除去部(1)固定部(2)(3)及び支持部(4)で形成された一連の部位全てを透明な材料により形成したことを特徴とするワイパーである。

この発明は上述の様に図(1)(2)(3)(4)の各部位全てを透明な材料で形成することにより、ワイパーを作動した時運転者の目の見透しが良くなり、視界のさえぎりによる目の疲れが無くなる。又ワイパーを所定の位置に置いた場合も透明な材料のため従来死角であった所の視界が良くなり安全を容易に確認出来る様になった。

この様にきわめて簡単な方法で運転者の願望であった目前での障害を除き安全の向上を計ることに成功した。

##### 4. 図面の簡単な説明

図は本発明の正面図である

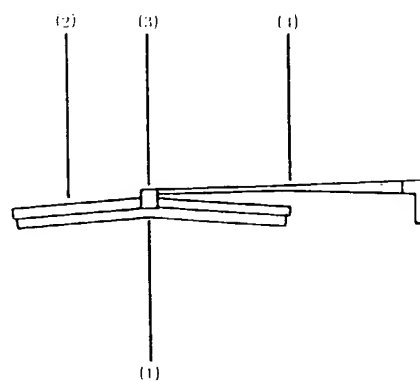
(1)は除去部

(2)及び(3)は固定部

(4)は支持部

特許出願人 宇田早海

特開昭58-206451



2